

【第1回】肱川流域治水協議会

- ・実施日：令和2年8月17日（月）14：30～15：30
- ・場所：大洲市総合福祉センター4階多目的ホール
- ・出席者：大洲市長、西予市長、内子町長、
愛媛県（中予地方局建設部長、大洲土木事務所長、西予土木事務所長）
四国地方整備局（大洲河川国道事務所長、肱川緊急治水対策河川事務所長、
山鳥坂ダム工事事務所長、肱川ダム統合管理事務所長）
※愛媛県（河川課長、都市計画課長、都市整備課長）
※オブザーバー参加
- ・事務局：大洲河川国道事務所、大洲土木事務所、西予土木事務所

●開催状況



●議事内容

- ・設立趣旨・規約について合意された。
- ・流域治水プロジェクト策定に向けて概要や今後のスケジュールの確認を行った。
- ・令和2年7月豪雨による浸水状況等についての情報提供を行った。
- ・流域における対策事例について情報提供を行った。

●構成員の主な発言要旨

○大洲市 二宮市長

- ・ここ数年の災害は、線状降水帯や巨大化する台風等により、かつて想像できなかった集中豪雨が発生している。このことを踏まえてハード面、ソフト面を踏まえた総力戦として防災減災対策に取り組む必要がある。
- ・肱川流域では、多くの森林面積を抱えており、もう1度原点に戻って治山治水として、森林や農地が持つ緑のダムとしての機能もできるだけ回復するように、川上から川下にかけて一体的に整備をしていく必要がある。
- ・大洲市でも治水・防災部門だけではなく、関係するセクションで対応していきたい。

○西予市 管家市長

- ・流域全体を捉え、あらゆる関係者が協働して流域全体の地域の特性に応じた流域治水を進めるという当協議会の趣旨は大変有意義であると思う。
- ・西予市にも水田や山が多くあり、肱川へ流れるまでの流出抑制対策を各地区で持つことによって、この地域全体で自然を利用しながら、ちょっとした手を入れることによって治水を進めるということを推進していく会として、このプロジェクトに積極的に協力し、期待をしている。

○内子町 稲本町長

- ・「からり」という道の駅の近くの河川敷には大勢の家族連れが遊んでおり、急な雨による増水で危ないのではないかといつも危機感を持っており、周辺の気象状況等を気に掛けている。流域全体で対応していこうということは非常に大事なことだと思う。
- ・既に減災対策協議会もあることからしっかりと交通整理をして頂きたい。
- ・森林、山と川との関係が大事と考えおり、今高齢化によって山の手入れをする人たちが、少なくなって大変な状況に置かれている。山の持つ保水機能と川との関係をきちっと整理しながら、どういうふうな山のあり方が大事なのかということも、場合によってはこの治水協議会の中で、オブザーバーみたいな形ででも必要に応じてそういう人たちの意見も取り入れて、少し幅の広い包括的なものもプランの中に入れられた良い。